

## 【(9) 机間指導】

### ③「児童生徒の考えを生かして学習を進めている」

#### 《つまずきの背景》

E 性格や心理的な課題、J 言語表現の困難さ、P 自尊感情の低下

#### 《解説》

机間指導で子どものノートやワークシートに目を配っていると、よい意見や感想、ユニークな発想や問題解決の方法が記されている場合があります。授業のめあてにつながるような記述があれば、そのことを発表するように促したり、教師から紹介したりして、授業を展開していくことができます。

学級には、自分の意見を積極的に発言する子どももいますが、内気な子どもや緊張しやすい子ども、失敗を恐れている子どもなど、人前ではなかなか発言できない子どもがいる場合があります。ノートやワークシートにより意見などを書いているときは、その場で丸を付けたり、褒めたりして本人に自信を持たせると、発表への意欲につながる場合があります。また、発表をためらっている場合には、教師がその子に代わって意見を伝える方法もあります。

子どもがノートやワークシートに書いた意見や感想を、教師が授業で紹介する場合があることをあらかじめ伝えておくによいです。中には「自分の意見として紹介してほしい」「名前が出るのは恥ずかしい」と思っている子どもがいるので、紹介の仕方に配慮する必要があります。

#### 【工夫点】

- ・ ノートやワークシートにより意見や感想を見つけたら発表を促す。(小中高)



机間指導では、それぞれの子どもが学習課題を把握しているかどうかを確認します。

子どもを励まし、学習意欲を高めるために、ノートやワークシートに朱筆で丸を付けたり、賞賛の言葉を書き込んだりすることもよい方法です。

つまずいていたり、課題に集中できていなかったりする子どもには、個別支援を行います。本人のプライドを考慮した対応をすることが大切です。